

# 日本食品保健指導士会会報

【第16号】

■発行：平成19年7月1日  
■発行所：日本食品保健指導士会

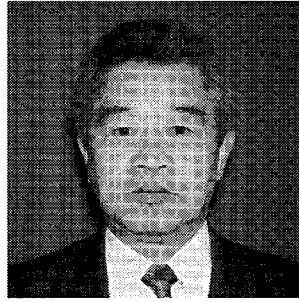
東京都新宿区市谷砂土原町2-7-27 TEL. 03-3268-3160 FAX. 03-3268-3373  
(財団法人日本健康・栄養食品協会教育研修部内)

今こそ、食品保健指導士の活動が

一層求められています

(社) 全国はっ酵乳乳酸菌飲料協会

専務理事 伊藤 蓮太郎



わが国における国民の健康の保持増進に対する関心が非常に高まっていることはどの観点から見ても明白な事実であり、なおかつ、多くの人々が、自らの健康の保持増進のためにいろいろな行動について自らが積極的に取り組むようになってきています。例えば、食事バランスを考えた食生活、適切な運動によるエネルギー消費、リフレッシュのための休息・憩いなどの実践です。

二〇〇一年三月に創設された保健機能食品制度は、前記の状況を踏まえ、「自らの食生活については、主食、主菜及び副菜を基本にした食事バランスをよく考えたものにする」ことを大前提にした上で、個々人の食事バランス及び健康状態に合致した特定保健用食品、栄養機能食品及びその他の健康補助食品の選択に資する最新の科学的根拠に基づいた適正な情報を提供すること」を目的として策定されたものです。

そこで、わが財団法人日本健康・栄養食品協会は、この保健機能食品制度を普及し推進するとともにその他の健康補助食品の適正な利用を図るためには、これら保健機能食品等を摂取する利用者に対しコンプライアンスと

最新の科学的根拠に則った適切な情報を正しくかつ分かり易く説明できるアドバイザリースタッフが必要不可欠であるとの観点から、二〇〇一年一〇月、食品保健指導士の養成・認定事業を開始しました。これまでに認定された食品保健指導士は七八三名です。

わたしは、「今こそ、食品保健指導士の一層の活動が求められているときはない」と考えています。その理由の大きな一つが、保健機能食品等を選択するために必要な確かな情報の収集に困惑している利用者が多数いるということです。その原因は、事業者側からは売らんがための説明が主体であり、濃縮したこと又は過剰摂取したることによる健康被害や保健機能食品等の有用性に関する素朴な疑問についての説明が不足していることにあると考えます。そして、この原因を除去することこそ食品保健指導士に課せられた重要な役割なのです。そこで、食品保健指導士の皆さんには、まず、社内の食品保健指導士仲間又は養成講習会の同期生等とともに五名前後の小グループをつくり、次のことを提案したいです。

- 一、最寄の市町村の消費者グループとの保健機能食品等の選択と適正な利用に関する勉強会(無料)を毎月一回程度、継続して開催し、食品保健指導士の存在を知ってもらう。必ず次への発展に繋がると考えます。
- 二、定期的にEメール又はニュースレターを発行する。必ず両者の信頼関係を強くする絆となります。

今こそ、食品保健指導士の活動の場を広げる好機と捉え、活躍されることを期待いたします。

◎「会」及び「会報」の名称が変更になりました。

「食品保健指導士会」↓「日本食品保健指導士会」

「食品保健指導士会会報」↓「日本食品保健指導士会会報」

(変更/平成一九年六月四日より)

## 会長就任に当たって

日本食品保健指導士会 会長 関本 邦敏



この度ははからずも会長職という重責をお引き受けすることになりました。身に余る光栄と申し上げなければなりません。しかし現実には、杉浦会長直々にご

要請を受けたため沈黙考することなく軽々に返事をしてしまい時間の経過に伴いわが身の軽薄さに後悔を致しているのが実情です。しかしながら総会において会員の皆様のご承認を賜りました以上、逃げ隠れするわけにはまいりません。杉浦前会長はじめ前幹事の皆様の計り知れないご苦労と会の発展に惜しみないご尽力を頂いた結果で食品保健指導士会が設立され、今日の確固たる組織につくり上げて頂きました。会員の皆様を代表して衷心より敬意を表しますとともに厚く御礼を申し上げます。存じます。

私は、大学を卒業後日本農産工業㈱に入社し、中央研究所で研究職として勤務し、ヨード卵の研究開発や栄養生理学的な研究に従事してきました。その間に東京農大の畜産学科に研究生として乳酸菌の研究に、また群馬大学医学部内分泌研究所（現生態調節研究所）に研究生として甲状腺ホルモン関連の研究に

かかわりました。サラリーマン生活の後半の一〇年程はヨード卵事業部門で営業支援や品質管理、お客様相談などの業務を行い、サラリーマン生活を終えました。現在は機能性食品コンサルタントとして食品関係やいわゆる健康食品関係の企業数社の顧問などの個人事業を致しております。

杉浦前会長のような卓越した指導力と見識を残念ながら持ち合わせておりませんが、新たに就任された幹事の皆様は、素晴らしい能力をお持ちの方々ですのでその上に乗せて頂き、能力不足を補わせて頂ければ何とかなるかなと能天気な考えでおります。

想起こそば平成一五年に誕生した本会ですが、生みの親である協会の手助けを頂きながら成長してきたわけです。しかしながら、四年間では時間が短く、残念ながらもまだ世間に広く認知されるまでには至っておりません。また受講し、有資格者になられた方が必ずしも指導士会に入会して頂けないという現実があります。この実態を如何にして変えていくことが出来るかが会の発展と認知を高める大事な活動だと思っております。協会と指導士会は親子であり表裏一体のもので、協会の活動に出来る限り協力をしながら協会の益々発展して頂く中で、指導士会も力を高めていきたいと願っております。そのための施策については既に前幹事の皆様によっ

て蒔かれた多くの種を育てながら、その上に新幹事の方々の発想による新しい水を注いでいけたら将来に希望が持てる会になっていくものと確信致しております。

食品保健指導士の肩書きを書いた名刺を出したときの食品保健指導士って何ですか？と聞かれた経験をお持ちの方は多いのではないのでしょうか。薬剤師、栄養士、調理師など説明の必要がないように早くしていかねればなりません。本年から名称を日本食品保健指導士会に改名しました。名前に負けない組織にするためには先ずは新しい仲間を増やすことだと思えます。皆様の部下や同僚あるいは関係先の方々に指導士の資格取得の受講を積極的に働きかけて頂きたいと思えます。また、会員相互の助け合いや情報交換など連携を深めるために、現在行われております、千葉県、東京都、関西地区の集まりに負けない地域の指導士会を立ち上げて頂きたいと願っております。特に横浜や名古屋などは指導士の有資格者が多くいますので是非とも連携を深めるために支部を立ち上げて頂きたい地域だと思っております。

末筆になりましたが、全国におられる会員の皆様のますますのご活躍を祈念申し上げますとともに、引き続き変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



### 第三期幹事会

## 幹事の抱負！

副会長に就任して

副会長 池田 千恵子

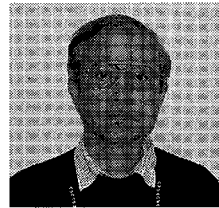


副会長は会の活動状況から関東地区の会員の中から選んで頂くのがよいかと、辞退をしておりましたが、どうしてもということ、微力な私ですがお引き受け

することにしました。会の発足後四年を経過し、杉浦前会長のご尽力で会の形態が整って参りました。今後は市民に貢献出来る会として、更に内容を充実して参らねばなりません。それには日健栄協で認定を受けられた指導士全員が会に参加頂き、すべての力を結集することが必要かと存じます。現在は会社に所属される方で会にご協力頂いている方は少数かと存じますが、企業の目的も市民のためにより良い健康食品を提供することにあると存じます。会の活動の中で市民と接する機会を多く持ち、市民の声に耳を傾け、消費者情報として製品作りに役立てることも出来るかと存じます。ぜひ会員になって頂いて、市民の健康作りを担う一員としてご活躍頂き、本会の知名度をあげ、市民に親しまれる会として発展させるために皆様のご協力を賜りたいと存じます。

会計担当幹事に就任して

会計担当幹事 高村 修一



この度、会計担当幹事を仰せつかりました。子供の頃より小遣い帳もつけたことのない、頼りない会計幹事ですが、皆様の年会費や財団法人日本健康・栄養食品協会を初めとする諸団体のご援助を無駄にしないよう有意義な予算執行を心掛けます。

日本食品保健指導士会の目的は会員相互の親睦を図りつつ、会員の健康補助食品および保健機能食品に関する知識・技能を向上させ、よって国民の健康の保持と増進に貢献することにあります。

この目的達成のためには、会員の活動を資金面からも支えられるようにしなければならぬと感じます。会員の積極的活動が認知度を上げ、存在感の向上につながり、結果として、ますます活動しやすくなる正の循環に向かうと期待されます。私達は食品保健指導士の資格を持っていて良かったと思えるようにしなければなりません。微力ですが、会長や幹事の皆様と力を合わせてお役に立てればと存じます。

さて、積極的支援の源である、会費の早期納入をどうぞよろしくお願い申し上げます。「あつ、嫌な会計担当」とお思いになることを少し恐れつつご挨拶とします。

皆様の声を反映して！

幹事 岸本 真弓



はじめまして。第三期の幹事となりました岸本真弓と申します。

薬事法違反の健食の摘発や、TV番組によるデータ捏造、海外学術誌でのサプリメントのネガティブデータ発表などが相次ぎました。一方で、来年四月の特定健診・保健指導の開始を契機にメタボリックシンドローム対応の健食は注目される市場を形成しつつあります。食品保健指導士をめぐる環境が、変化していく時期にあたり、本会の役割は大きいものと考えます。

今後一層の消費者への情報提供が望まれています。本会でも、情報提供の取り組みとして、消費者向けの電話相談が開設され、指導士が活躍されています。Web開設も検討課題となっており、地域の食品指導士会では、勉強会を重ね、新しい情報の収集などの研鑽を積んでおられます。

指導士一人ひとりの、経験や知識が活用されれば、国民に健康食品の適切な摂取を促し、健康づくりをサポートすることが出来ます。本会は、指導士の知識・技能・情報収集・指導士間の親睦が目的です。この目的に沿って、みなさまのお声を反映させながら、さらに活発な指導士会活動となるよう、微力ながら励んで参ります。よろしくお申し込み申し上げます。

明るく元気で頑張りましたよ！

幹事 松山 理恵子



平成一九年六月四日の総会で幹事を務めさせていただきましたことになりました。

私が食品保健指導士の資格を取得してから三年半が経ちました。指導士としての

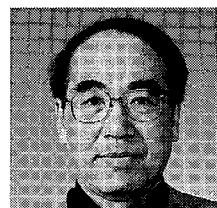
初めての仕事は協会の展示ブースの説明要員でした。ドキドキ、ワクワクしたのを覚えてます。現在は協会の展示ルームの説明要員と電話相談をさせていただいております。消費者からの真剣な生の声を聞くたびに自分の勉強不足を思い知らされます。

二年ほど前に発起人をつのり、立ち上げた東京地区の指導士の集いもボランティアの講師の皆様、指導士の皆様のご協力で一〇回を数えました。新メンバーがどんどん増えてくるのを楽しみにしております。

これらの経験を経てわかったことがあります。それはコミュニケーションをとることが、とても大切だということです。コミュニケーションからいろいろな答えを見つけ出すことができます。二世紀は統合の時代です。健康食品にかかわる人たちが皆で消費者への貢献ができたら素的だと思えます。それぞれの分野の架け橋になれるよう、明るく楽しく元氣よく、微力ながら精一杯頑張りたいと思います。指導士の皆様のご協力、どうぞ宜しくお願いいたします。

保健指導は、これからの花形!!

幹事 能美 茂



私は、食品業界に従事しており、お客様からの健康相談を受け対応しています。また、社内健診での結果についても、今年から結果に対する指導が厳しくなり、

相談頻度が増えています。メタボリック症候群の予防対策として、特定健診、特定保健指導が来年から実施される前段としての具体的な動きが出ています。行政からは、保健指導、運動指導、食事指導のそれぞれのガイドラインが、インターネットで公開されています。行政としては環境を整備しています。後は、指導する人の、意識の高揚、自己啓発の活発化が、時代的に要望されています。我々食品保健指導士は、今まで以上に知識の取得、指導力、相談対応力が必要となります。会員には、医師、獣医師等多様な方がおられます。

現在は、個々バラバラな会ですが、会員相互の情報交換が可能となれば、様々な視点からの情報交流ができ、すばらしい会へと発展していくはずですが、二週間苦勞して自己研鑽した食品保健指導士の仲間です。会員名簿の共有も考えてみようではありませんか。



「情報」から

「情報コミュニケーション」へ

幹事 阿部 真



皆様、はじめまして。このたび幹事の一人として勤めさせていただくこととなりました。さて、昨今IT技術の発達から大量の情報が氾濫しています。それら

の情報から正しいものをわかり易く整理し、迅速かつ正確に消費者に伝える役目を担っているのが食品保健指導士です。そのための人材育成ということで食品保健指導士をはじめ、さまざまなアドバイザリースタッフが誕生しました。残念ながら、これらの資格の知名度は決して高いものではありません。また、食品保健指導士自身も多様な情報の中から取捨選択することに追われている状態です。個人個人では、難しいことも団体としての活動で実現可能なこともあります。その逆に、団体では難しいことも個人では可能なこともあります。その場所、機会の提供が食品保健指導士会の役割ではないでしょうか？先日の総会で日本食品保健指導士会となりました。これまでに以上に、消費者への認知度アップ、指導士相互間の情報交換、知識向上のための情報発信などに務めていきたいと思えます。微力ではありますが、食品保健指導士の皆様が、食品に関する情報提供者として活動しやすいように。そして社会的地位・ (六頁へ続く)



## 『食と薬の相互作用』（シリーズ6）

副会長 池田 千恵子

今回は相互作用として医療用医薬品の添付文書に記載されている食品（健康食品含む）について記載します。

### 4. 医療用医薬品の添付文書に相互作用として記載されている食品

#### 1) 薬物代謝酵素P450に対する相互作用として記載

##### ☆グレープフルーツジュース

グレープフルーツジュースは薬物代謝酵素P450のCYP3A4という種類の酵素を阻害する作用があるため、CYP3A4で代謝される薬物が代謝されにくくなり、無毒化されて排泄するのが遅れ、お薬の血中濃度が高くなり、お薬が効きすぎて副作用が出る恐れがあります。

- ・ 血圧降下薬のカルシウム拮抗剤（ニフェジピン、ニルバジピン、マニジピンなど13種類）
- ・ 免疫抑制薬（シクロスポリン、タクロリムス）
- ・ 抗HIV薬（エイズのお薬のサキナビル）
- ・ 抗てんかん薬（カルママゼピン）

##### ☆セントジョーンズワート

セントジョーンズワートは薬物代謝酵素P450のCYP3A4という種類の酵素を誘導する作用があるため、CYP3A4で代謝される薬物が速く代謝されるためお薬の効果がなくなる可能性があります。

- ・ 抗HIV薬（エイズのお薬のインジナビル、サキナビル、リトナビル、ネピラビンなど10種類）
- ・ 抗腫瘍薬（イマチニブ、イリノテカン、イレッサ、ゲフィチニブ）
- ・ 血液凝固防止薬（ワルファリン）
- ・ 免疫抑制薬（シクロスポリン、タクロリムス）
- ・ 経口避妊薬（エチニールエストラジオール・ノルエチステロン、エチニールエストラジオール・ノボノルゲストレル）
- ・ 強心薬（ジゴキシン、ジギトキシン、メチルジギトキシン）
- ・ 気管支拡張薬（テオフィリン、アミノフィリン、コリンテオフィリン）
- ・ 抗てんかん薬（カルママゼピン、フェニトイン、フェノバルビタール、フェノバルビタールNa）
- ・ 抗不整脈薬（アミオダロン、キシロカイン、ジソピラミド、プロパフェノン、硫酸キニジン）

#### 2) モノアミンオキシダーゼ（MAO）に対する相互作用として記載されている食品

☆まぐろなどヒスチジン含有魚、チーズなどチラミン含有食と抗結核薬（イソニアチド）イソニアチドがMAOを阻害してヒスチジン・チラミンの分解を阻害し、アレルギー症状を起す。

#### 3) ビタミンKに対する相互作用として記載されているビタミンK多量含有食品

##### ☆納豆類、クロレラと血液凝固防止薬（ワルファリン）

納豆類、クロレラに含まれるビタミンKによりワルファリンの効果がなくなる。

（次号に続く）

役割を確立できるような活動をサポートできたらと考えております。  
本会の発展は会員の皆様のお力添えがなければありえません。ぜひ、皆様のご協力をお願いいたします。

平成一九年度  
食品保健指導士会通常総会

レポ ー ト

食品保健指導士通常総会は、平成一九年六月四日(月)午後二時三〇分より、(財)日本健康・栄養食品協会三階会議室において開催。以下にその議事要旨をお示しいたします。

【通常総会】

司会：川村國雄幹事

一、開会の辞：杉浦上太郎会長

私どもの「食品保健指導士会」は、ご承知のとおり、今から四年前の、平成一五年四月一日に誕生しました。今年の三月で満四年を経過したということです。

発足当初の指導士は一一一名でした。それが、今年の三月三十一日現在では七八三名となっており、七倍になりました。

当会は、多くの会員の皆様の協力を得ながら、また日本健康・栄養食品協会のご指導を得ながら、運営をして参りました。当会の基本的な活動指針は――

- ① 会員相互のコミュニケーションを図る
- ② 能力アップを図る
- ③ 会員へのサポート

にあつて、その結果、ダイナミックな社会活動を行い、食品保健指導士の認知度を高めていくことにあります。

今通常総会において、平成一五年に就任した幹事(杉浦上太郎会長、淀川都副会長、石井富佐恵・川村國雄幹事)は、会則にしたがつて、退任し、新しい方が幹事に就任いただく予定となっております。

新しい幹事候補の方々は、多くの会員より推薦された大変素晴らしい方々と思っております。さらに、当会の運営が一挙に充実するでありましょう。そうなれば、必ず多くの会員に満足していただける会になつていくものと確信いたしております。会の組織運営の基本は、会員各位のご理解とご協力です。どうぞ皆様、食品保健指導士会の主役なのだという意識を益々深めていただき、ご協力賜りますようお願いいたします。

二、議長選出

司会者より、能美茂幹事を議長とする提案がなされ、満場一致にて承認された。

三、議決票数発表

能美茂議長より、当日出席者三一名、委任状提出者(欠席)八七名、合計一一八票を議決票数とする旨の発表がなされた。

四、一号議案／平成一八年度食品保健指導士

会活動報告：杉浦会長

- (一) 平成一七年度食品保健指導士会活動方針
- (二) 会員アンケート調査実施
- (三) 食品保健指導士会交通費規定を設ける
- (四) 秋期研修会実施(東京・大阪)
- (五) サプリメント市民講座開催(柏市)
- (六) 会報発行(四回/年)
- (七) 資料作成「サプリメント概要」(仮称)、編集途上
- (八) 幹事会開催(九回/年)
- (九) 地区会開催(千葉県三回、東京都四回、関西地区一回)
- (一〇) 社会活動の実施(平成一八年度四月一日～平成一九年三月三十一日)

右記、一号議案が、満場一致にて承認された。

五、二号議案／平成一八年度決算報告：石井富佐恵会計担当幹事

- (一) 平成一八年度「食品保健指導士会収支決算書(自：平成一八年四月一日～至：平成一九年三月三十一日)」(資料一)に基づいて、石井幹事より報告がなされた。
- (二) 監査報告書(資料二)に基づいて、

岡村澄子監事より、四月二四日、成田幸恵監事と共に監査した結果、誤りがなく適切に会計処理されていると判断した旨の報告がなされた。

右記、二号議案が、満場一致にて承認された。

(三) 関本邦敏会長より、会長就任挨拶  
(四) 役付き幹事の紹介／副会長・池田千恵子幹事、会計担当・高村修一幹事、  
(五) 事務局員（新設）の紹介／杉浦上太郎指導士  
(六) 新幹事の自己紹介

#### 六. 三号議案／食品保健指導士会会則及び食品保健指導士会旅費規程の改定

定：杉浦上太郎会長

#### 九. 五号議案／平成一九年度食品保健指導士会活動計画案

定：関本会長

(一) 改定案の趣旨説明  
(二) 質疑応答  
(三) 会則改定案の一部修正

(一) 食品保健指導士会 Web Page 開設の件  
(二) 秋期研修会の件  
(三) サプリメント市民講座開催の件  
(四) 食品保健指導士会会報の件  
(五) 資料作成の件  
(六) 幹事会開催の件  
(七) 平成一九年度予算案の件

#### 七. 四号議案／食品保健指導士会役員選出

杉浦会長

右記、五号議案が、満場一致にて承認された。

(一) 新幹事推薦候補者の紹介／関本邦敏・阿部真・高村修一・松山理恵子・岸本真弓指導士

(二) 留任幹事の紹介／池田千恵子・能美茂幹事

(三) 留任監事の紹介／岡村澄子・成田幸恵監事

右記、四号議案が、満場一致にて承認された。

#### 八. 新幹事会体制の発表

(一) 新幹事及び留任幹事による幹事会を別室にて開催

(二) 新会長に関本邦敏幹事が就任

#### 【記念講演】

演題：「健康食品の安全性」

(財)日本健康・栄養食品協会

理事長 林 裕造

主要内容：①リスク分析による食品安全性の確保

②健康食品の安全性評価のポイント

③食品の安全性評価に必要な科学的知見

④健康食品の安全性の確保の問題

点とその対応

⑤食経験による安全性の判断

⑥健康食品の安全性確保におけるリスク分析の役割とその意義等  
短い時間であったが、食品保健指導士にとって極めて重要な講義を拝聴し、感謝に耐えない。

#### 【懇親会】

司会者：能美茂幹事

一. 開会挨拶：日本食品保健指導士会

会長 関本 邦敏

二. 祝 辞：(財)日本健康・栄養食品協会

理事長 林 裕造

三. 乾 杯：(財)日本健康・栄養食品協会

事務局長 藤嶋 英二郎

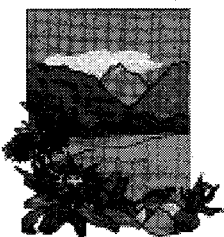
四. 閉会挨拶：日本食品保健指導士会

副会長 池田 千恵子

懇親会に先立ち、全員で記念写真撮影を行いました。カメラマンは、吉池修指導士。

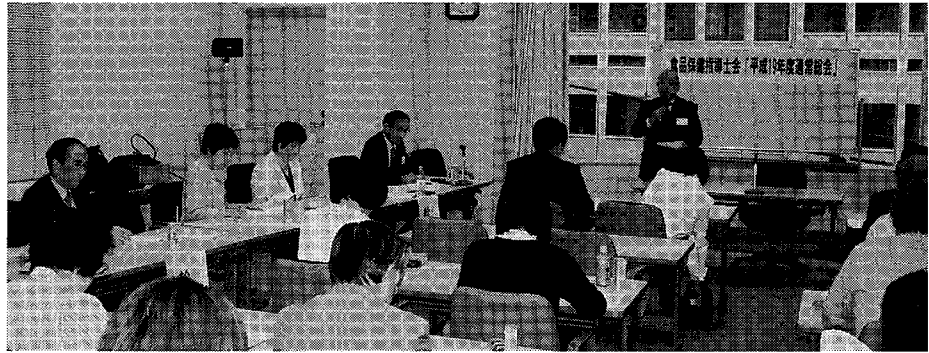
懇親会は、指導士会会員と(財)日本健康・栄養食品協会の職員の方々が一同に会し、和気藹々のうちに行われました。

会場貸与等、すべてにわたってご配慮賜りました日健栄協に感謝します。

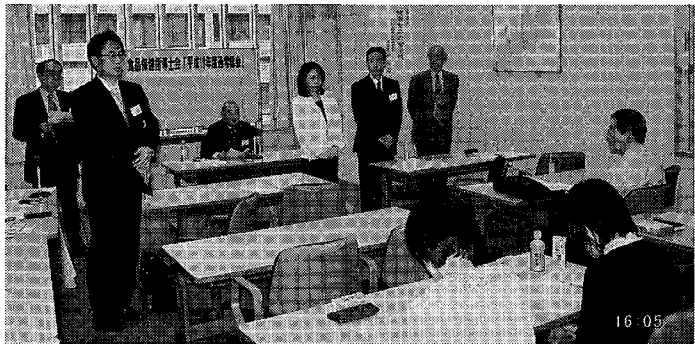
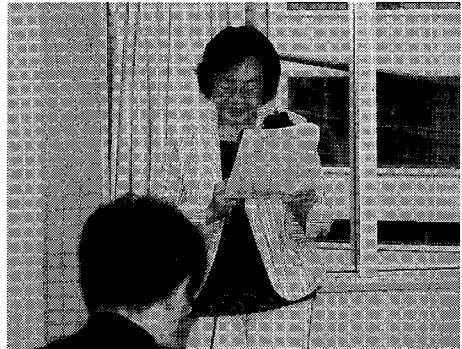


懇親会

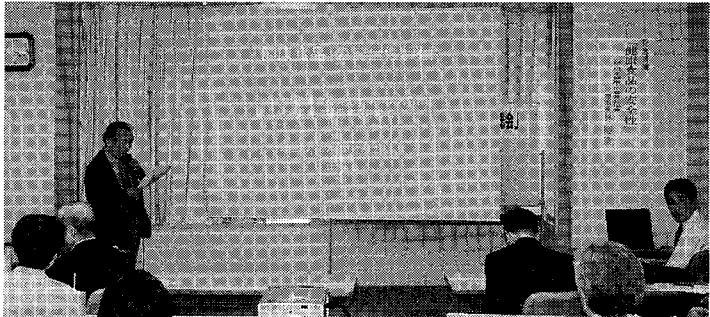
平成一九年度通常総会



△杉浦前会長挨拶   ▽石井前幹事の会計報告   ▽岡村監事の監査報告



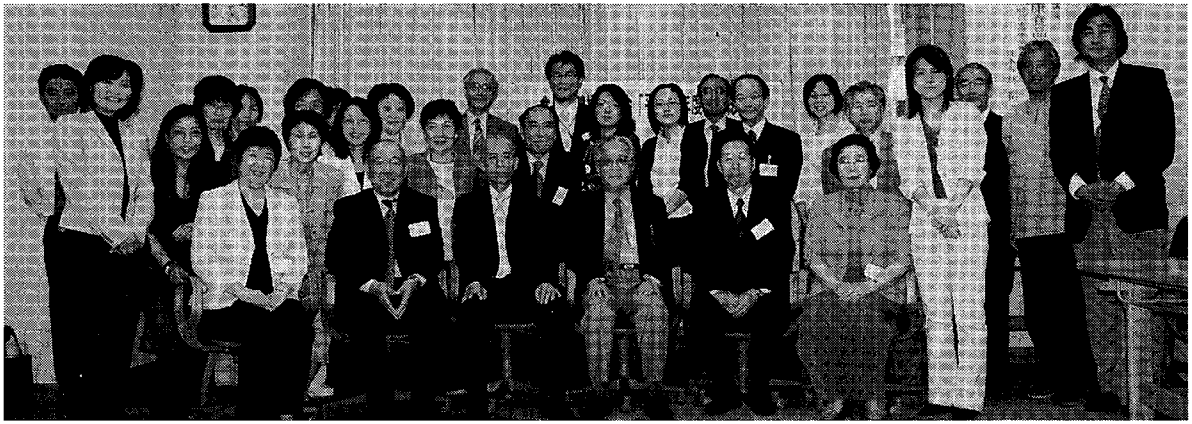
▽明るい受付係   △新幹事候補者の紹介   ▽林理事長／記念講演   △関本新会長の挨拶



△会場風景

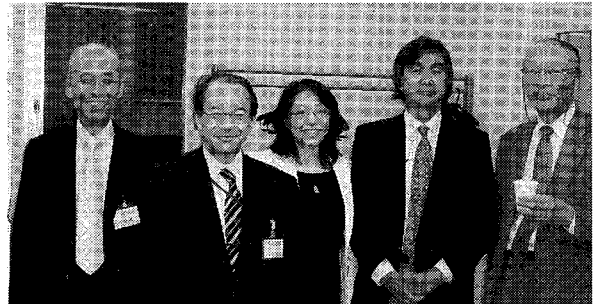
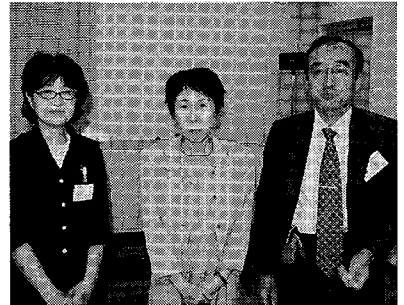
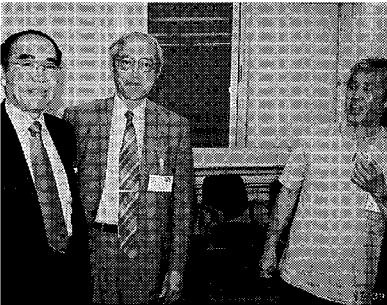
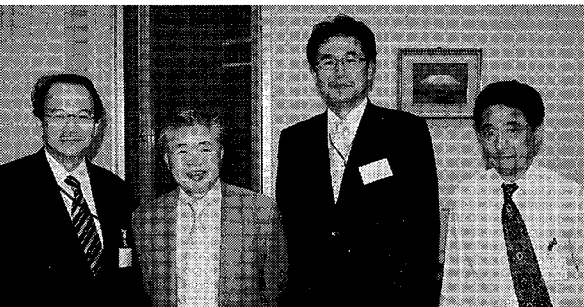
△司会／川村前幹事

△議長／能美幹事



△参加者全員で記念撮影

▽乾杯！懇親会のスタート



## 《地区活動状況》

### ◎ 第一〇回東京都地区会

- ・日時／平成一九年四月一〇日（火）  
一八時三〇分～二二時
- ・場所／（財）日本健康・栄養食品協会  
三階会議
- ・研修／「四季折々の養生法」～見直してみませんか？生活習慣～
- ・講師／尾川利恵子食品保健指導士  
（漢方薬・生薬認定薬剤師、臨床検査技師）
- ・出席者／三一名
- ・内容／
  - ① 陰陽五行説の詳細について
  - ② 季節と体のバランス
  - ③ 「土用」の考え方
  - ④ 未病対策として、漢方薬、サプリメントを利用する際、五感を大事にする
  - ⑤ 症状がでたら早く受診することが大事  
（報告：松山理恵子幹事）

### ◎ 第一三回千葉県地区会

- ・日時／平成一九年三月九日（土）  
一三時～一五時
- ・場所／千葉中央コミュニティーセンター  
六階講習室
- ・研修／「ビルベリー」
- ・講師／杉浦上太郎食品保健指導士

- ・出席者／一八名
- ・内容／
  - ① ビルベリーの本質（アントシアニン）
  - ② ビルベリーの医薬品の適応症について
  - ③ 網膜（視細胞）の構造及びロドプシンへのアントシアニンの作用
  - ④ 医薬品原料規格で製造したサンプルを配布し、全員で摂取体験を試みた。  
（報告：吉池修指導士）

## 食品保健指導士会活動状況

### ● 平成一八年度第九回幹事会

- ▽ 平成一八年三月二九日（木）
- ▽ 於／（財）日本健康・栄養食品協会一F
- ▽ 出席幹事／杉浦会長、石井・池田・能美幹事（四名）
- ▽ オブザーバー／日健栄協・藤嶋事務局長、岩浪課長（二名）
- ▽ 議題／①会報第一五号発行の件、②会費納入状況の件、③H一八年度収支決算書の件、④H一九年度役員改選の件、⑤H一九年度通常総会開催の件、⑥Web Page作成の件、⑦教育研修部活動情報 の件、⑧その他の件

### ● 平成一九年度第一回幹事会

- ▽ 平成一九年四月二三日（木）
- ▽ 於／（財）日本健康・栄養食品協会一F
- ▽ 出席幹事／杉浦会長、石井・池田・川村

- ▽ 幹事（五名）
- ▽ オブザーバー／日健栄協：岩浪課長（二名）

- ▽ 議題／①平成一八年度会費納付結果の件、②H一八年度社会活動の件、③H一八年度決算報告（最終）の件、④新幹事推薦候補者の件、⑤H一九年度通常総会開催の件、⑥食品保健指導士会会則（旅費規程を含む）改定の件

### ● 平成一九年度通常総会打合せ

- ▽ 平成一九年五月二四日（木）
- ▽ 於／（財）日本健康・栄養食品協会一F
- ▽ 出席幹事／杉浦会長、石井・池田・川村幹事（五名）
- ▽ オブザーバー／日健栄協：岩浪課長（二名）
- ▽ 議題／①通常総会準備の件、②通常総会進行の件、③記念講演の件、④懇親会の件、⑤通常総会後の事務処理等の件、⑥監事会報第一四号発行報告の件、⑦Web Page構築の推進の件、⑧会報編集責任者決定の件、⑨資料編纂委員会の設置の件、⑩幹事会の件、⑪更新制度の件

### ● 平成一九年度第二回幹事会

- ▽ 平成一九年六月四日（月）
- ▽ 於／（財）日本健康・栄養食品協会三F
- ▽ 出席幹事／関本・池田・高村・阿部・松山・能美幹事
- ▽ 議題／役員選出（以下省略、七頁参照）